



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和3年度 川崎市立小・中学校における 児童生徒の問題行動・不登校等の調査結果について

この調査結果は、「令和3年度 神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査」（以下 神奈川県の調査）における本市の状況をまとめたものです。

| | |
|-----------------|----|
| 1. 概要・・・・・・・・・・ | 1 |
| 2. 暴力行為の状況・・・・ | 3 |
| 3. いじめの状況・・・・ | 6 |
| 4. 長期欠席の状況・・・・ | 12 |
| 5. 参考資料・・・・・・・・ | 16 |

令和4（2022）年11月15日

川崎市教育委員会

1. 概要

(1) 川崎市立小・中学校における暴力行為の概要

令和3年度の小学校における暴力行為の発生件数は194件で、前年度から65件増加しています。また、中学校における暴力行為の発生件数は147件で、前年度から3件減少しています。

暴力行為の形態別発生件数は、生徒間暴力が最も多く、小学校で124件、中学校で96件となっております。また、繰り返し暴力行為を起こす児童生徒(1人で5件以上の暴力行為)は、小学校では9人で前年度から5人増加し、中学校では1人で前年度から1人増加しています。

国や県の調査では小学校での暴力行為の発生件数は年々増加傾向が見られ、中学校では減少傾向が見られますが、本市においても同様の傾向が見られ、中学校での暴力行為の発生件数は、ここ10年間で最も少なくなり、小学校の発生件数が中学校を上回りました。

暴力行為に対しては、「許されない行為である」との認識のもと暴力を明確に否定し、毅然とした態度で指導を行うとともに、暴力という現象のみに目を向けるのではなく、一人ひとりの心情や抱えている背景等を捉えて内面の理解を深め、丁寧に寄り添った対応や支援を行うことができるよう、学校と関係機関との連携を図りながら暴力行為の減少に努めてまいります。

(2) 川崎市立小・中学校におけるいじめの概要

小学校におけるいじめの認知件数は4506件で、前年度から818件増加しています。また、中学校における認知件数は275件で、前年度から15件増加しています。

年度末におけるいじめの解消率(※)は、小学校では、77.3%で、前年度から7.1ポイント増加しています。中学校では、81.8%で、前年度から5.3ポイント増加しています。また、追跡調査の結果、令和4年7月20日時点における、令和3年度に認知したいじめの解消率は、小学校では、97.7%、中学校では、93.5%でした。

いじめに対しては、全教職員が、「いじめは、どの学校でも、どの学級(集団)でも、どの子どもにも起こり得る」という認識を深め、「いじめを許さない」姿勢を示し、いじめ防止の取組や積極的な認知を推進するとともに、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめられている児童生徒の救済を最優先とした組織的な対応ができる各学校の体制づくりへの支援に努めてまいります。

なお、引き続き、本市では毎年6月から7月末までの任意の1ヶ月間を、児童生徒指導点検強化月間として全市立学校で教育相談やアンケート調査等を行い、いじめ防止等の取組を継続して進めています。さらに、令和4年度に市教委に答申された、いじめの重大事態に係る調査報告書において、「川崎市いじめ問題・専門調査委員会」からの提言を踏まえ、全市立学校で調査報告書をもとに、いじめ防止等の取組の見直しやいじめの事案への対処等について、校内研修を依頼するとともに、令和2年11月に市教委が作成したいじめ初期対応の手引きを本年度末発行を目指して改定作業をすすめ、いじめ防止対策推進法に基づいた組織的な対応が実践されるよう教員向けの校内外の研修を充実してまいります。

今後も、児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるように、いじめ問題への理解を深め、その未然防止と早期発見・早期対応等に努めてまいります。

※ 「いじめの解消率」

平成 27 年度調査までは、いじめの認知件数のうち、年度内に「解消しているもの」と「一定の解消が図られたが、継続支援中」を合わせた件数が占める割合を「いじめの改善率」としていたが、平成 28 年度文部科学省調査にて「解消しているもの」の定義が明確に示されるとともに、「一定の解消が図られたが、継続支援中」の回答項目が削除されるなど調査項目が変更されたため、「解消しているもの」が占める割合を「いじめ解消率」とした。

(3) 川崎市立小・中学校における長期欠席の概要

令和 3 年度の小学校の長期欠席児童数は 1997 人であり、そのうち不登校児童数は 947 人で、不登校児童数が前年度から 140 人増加し、不登校児童数の 1,000 人あたりの出現数は 12.8 人で、前年度から 1.9 人増加しています。また、中学校の長期欠席生徒数は 1877 人であり、そのうち不登校生徒数は 1506 人で、不登校生徒数は前年度から 136 人増加しています。不登校生徒数の 1,000 人あたりの出現数は 50.2 人で、前年度から 4.1 人増加しています。また、学年別不登校児童生徒では、小学校 4 年生は前年度から減少しましたが、その他の学年は増加しています。

不登校の要因の主たるものとして、「本人に係る状況」においては、小中学校ともに「無気力、不安」が最も多く、「学校に係る状況」においては、小中学校ともに「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が最も多く、続いて小学校では、「学業の不振」、中学校では、「学業の不振」や「入学・転編入学・進級時の不適應」となっています。

不登校の要因は、多様であり複合的な場合も少なくありませんので、日頃から一人ひとりに寄り添い組織的な対応ができるよう学校の支援に努めるとともに、すべての児童生徒にとって安心していきいきと過ごせる魅力ある居場所であるために、魅力ある学校づくりを推進してまいります。

また、不登校傾向の見られる児童生徒については、登校するという結果のみを目標にするのではなく、自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指すことができるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めてまいります。

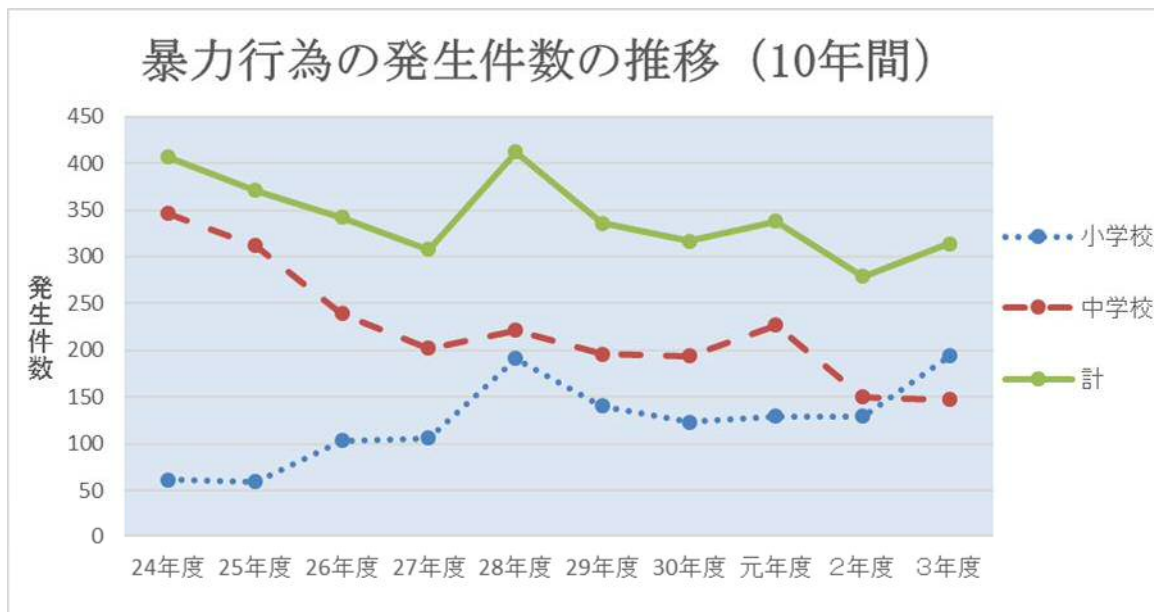
<調査対象> 川崎市立小学校：114 校、川崎市立中学校：52 校

2. 川崎市立小・中学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生件数の推移（5年間）

| | | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|----------|------|------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 発生件数 | 140 | 123 | 129 | 129 | 194 |
| | 1000人あたり | 1.9 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 2.6 |
| 中学校 | 発生件数 | 196 | 194 | 227 | 150 | 147 |
| | 1000人あたり | 6.7 | 6.7 | 7.8 | 5.1 | 4.9 |
| 計 | 発生件数 | 336 | 317 | 356 | 279 | 341 |
| | 1000人あたり | 3.3 | 3.1 | 3.4 | 2.7 | 3.28 |

「1000人あたり」とは、1000人あたりの出現数を表しています。



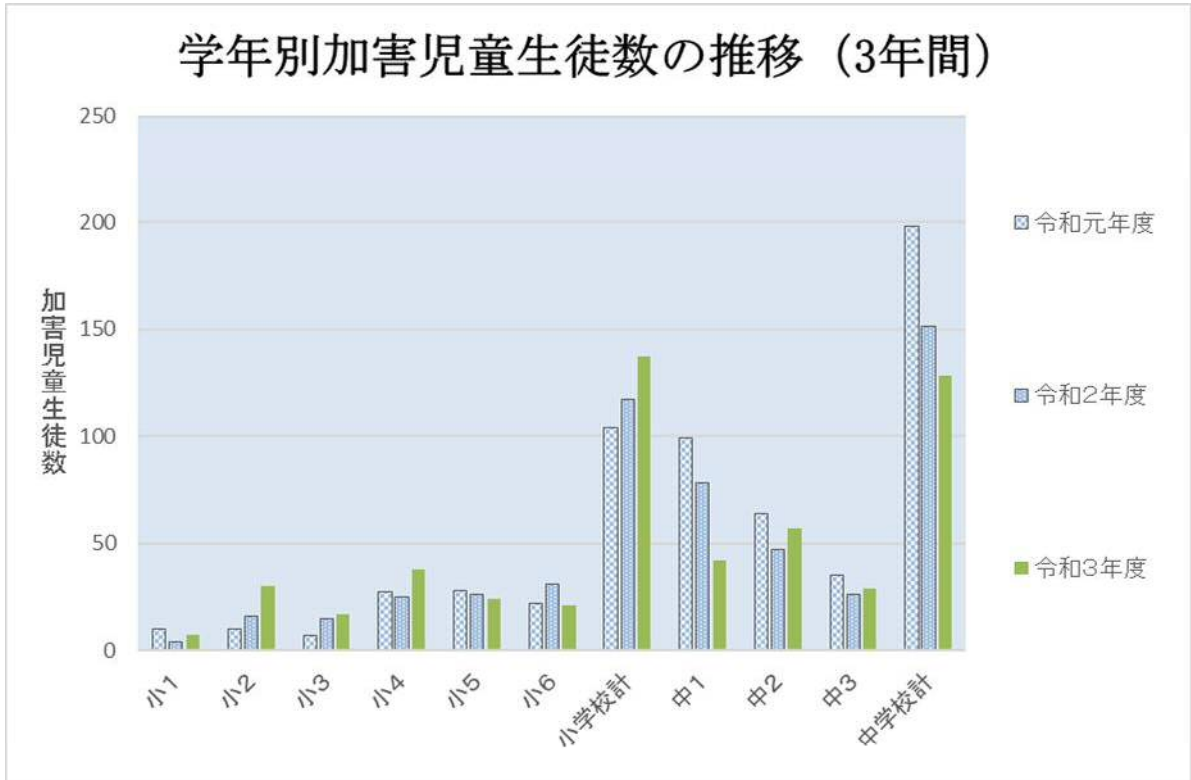
(2) 暴力行為の形態別発生件数の推移（5年間）

| | | 形態 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|--|-------|------|------|-------|-------|-------|
| 小学校 | | 対教師暴力 | 17 | 23 | 34 | 38 | 38 |
| | | 生徒間暴力 | 95 | 60 | 75 | 54 | 124 |
| | | 対人暴力 | 3 | 13 | 2 | 3 | 2 |
| | | 器物損壊 | 25 | 27 | 18 | 34 | 30 |
| | | 合計 | 140 | 123 | 129 | 129 | 194 |
| 中学校 | | 対教師暴力 | 34 | 32 | 38 | 13 | 16 |
| | | 生徒間暴力 | 112 | 124 | 140 | 98 | 96 |
| | | 対人暴力 | 13 | 3 | 6 | 6 | 1 |
| | | 器物損壊 | 37 | 35 | 43 | 33 | 34 |
| | | 合計 | 196 | 194 | 227 | 150 | 147 |

暴力行為の定義と各形態の凡例は、5ページをご覧ください。

(3) 学年別の加害児童生徒数の推移（3年間）

| | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 小計 | 中1 | 中2 | 中3 | 小計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|
| 令和元年度 | 10 | 10 | 7 | 27 | 28 | 22 | 104 | 99 | 64 | 35 | 198 |
| 令和2年度 | 4 | 16 | 15 | 25 | 26 | 31 | 117 | 78 | 47 | 26 | 151 |
| 令和3年度 | 7 | 30 | 17 | 38 | 24 | 21 | 137 | 42 | 57 | 29 | 128 |



(4) 繰り返し暴力行為を起こした児童生徒数の推移（5年間）

| | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 6 | 4 | 8 | 4 | 9 |
| 中学校 | 2 | 5 | 6 | 0 | 1 |

1人で5件以上暴力行為を起こした人数

◆ 神奈川県調査による「暴力行為」の定義等

「暴力行為」とは、「**自校の児童・生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為**」をいい、被暴力行為の対象によって、次の四形態に分類し調査している。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外としている。

- ①「**対教師暴力**」（教師に限らず、用務員等の学校職員を含む）の例
 - ・指導されたことに激高して教師の足を蹴った
 - ・教師の胸倉をつかんだ
 - ・教師の腕をカッターナイフで切りつけた
 - ・養護教諭目掛けて椅子を投げつけた
 - ・定期的に来校する教育相談員を殴った
 - ・その他、教職員に暴行を加えた
- ②「**生徒間暴力**」（何らかの人間関係がある児童・生徒同士に限る）の例
 - ・同じ学校の生徒同士がけんかとなり、双方が相手を殴った
 - ・高等学校在籍の生徒2名が、中学校時の後輩で、中学校在籍の生徒の身体を壁に押し付けた
 - ・部活動中に、上級生が下級生に対し、指導と称して清掃道具で叩いた
 - ・遊びやふざけを装って、特定の生徒の首を絞めた
 - ・双方が顔見知りで別々の学校に在籍する生徒同士が口論となり、けがには至らなかったが、身体を突き飛ばすなどした
 - ・その他、何らかの人間関係がある児童・生徒に対して暴行を加えた
- ③「**対人暴力**」（対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く）の例
 - ・学校行事に来賓として招かれた地域住民に足蹴りをした
 - ・偶然通りかかった他校の見知らぬ生徒と口論になり、殴ったり蹴ったりした
 - ・登下校中に、通行人にけがを負わせた
 - ・その他、他者（対教師及び生徒間暴力の対象者を除く）に対して暴行を加えた
- ④「**器物損壊**」（学校の施設・設備等の損壊）の例
 - ・教室の窓ガラスを故意に割った
 - ・トイレのドアを故意に壊した
 - ・補修を要する落書きをした
 - ・学校で飼育している動物を故意に傷つけた
 - ・学校備品（カーテン、掃除道具等）を故意に壊した
 - ・他人の私物を故意に壊した
 - ・その他、学校の施設・設備等を故意に壊した

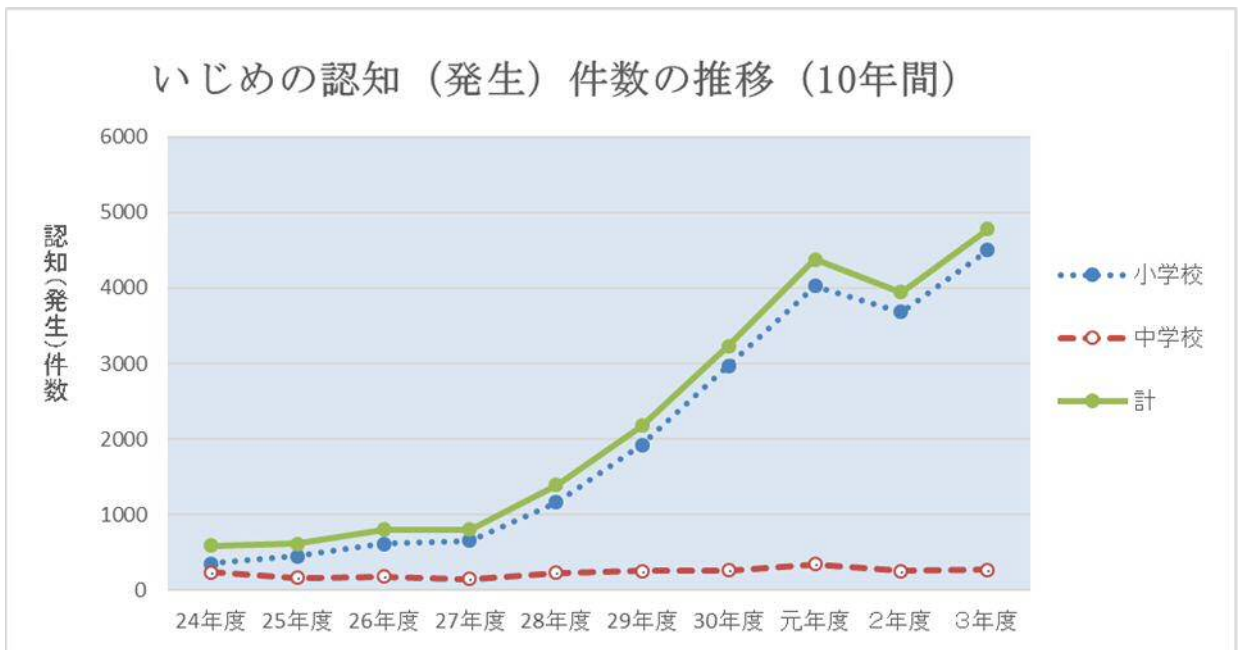
なお、調査においては、当該暴力行為によってけががあるかないかといったことや、けがによる病院の診断書、被害者による警察への被害届の有無などにかかわらず、当該暴力行為の内容及び程度等が、例に掲げているような行為と同等か又はこれらを上回るようなものを全て調査対象としている。

3. 川崎市立小・中学校におけるいじめの状況

(1) いじめの認知（発生）件数の推移（5年間）

| | | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 認知件数 | 1,923 | 2,973 | 4,027 | 3,688 | 4,506 |
| | 1000人あたり | 26.4 | 40.3 | 54.2 | 49.7 | 60.8 |
| 中学校 | 認知件数 | 253 | 263 | 349 | 260 | 275 |
| | 1000人あたり | 8.6 | 9.1 | 12.0 | 8.8 | 9.17 |
| 計 | 認知件数 | 2,176 | 3,236 | 4,376 | 3,948 | 4,781 |
| | 1000人あたり | 21.3 | 31.5 | 42.3 | 38.0 | 45.9 |

「1000人あたり」とは、1000人あたりの出現数を表しています。



平成25年度に「いじめ」に定義が変更されています。具体的には、11ページをご覧ください。

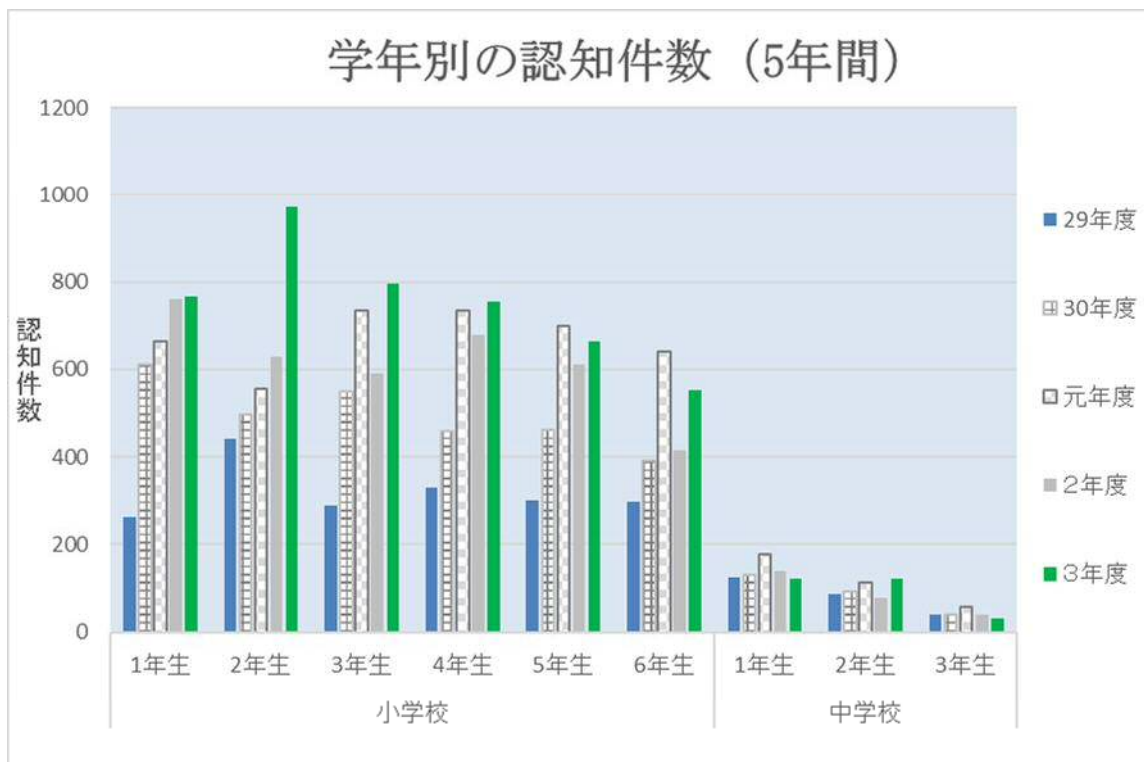
(2) いじめの男女別認知（発生）件数の推移（5年間）

| | 小学校 | | 中学校 | |
|-------|-------|-------|------|-----|
| | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 29年度 | 1,199 | 724 | 148 | 105 |
| 30年度 | 1,807 | 1,166 | 139 | 124 |
| 令和元年度 | 2,507 | 1,520 | 179 | 170 |
| 令和2年度 | 2,310 | 1,378 | 157 | 103 |
| 令和3年度 | 調査せず | | 調査せず | |

※令和3年度より、調査項目のいじめの認知件数の男女別内訳が削除されました。

(3) いじめの学年別認知件数（5年間）

| 年度 | 小学校 | | | | | | | 中学校 | | | | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 計 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 計 | |
| 29年度 | 264 | 442 | 290 | 329 | 301 | 297 | 1,923 | 125 | 87 | 41 | 253 | 2,176 |
| 30年度 | 611 | 498 | 551 | 460 | 462 | 391 | 2,973 | 130 | 92 | 41 | 263 | 3,236 |
| 元年度 | 665 | 556 | 733 | 733 | 700 | 640 | 4,027 | 177 | 113 | 59 | 349 | 4,376 |
| 2年度 | 762 | 630 | 591 | 678 | 612 | 415 | 3,688 | 141 | 79 | 40 | 260 | 3,948 |
| 3年度 | 766 | 972 | 795 | 756 | 665 | 552 | 4,506 | 122 | 121 | 32 | 275 | 4,781 |



(4) いじめの態様別認知件数

| 項目(※) | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|-----------------------------------|-------|-----|-------|-----|
| | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 |
| 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。 | 1,912 | 163 | 2,179 | 154 |
| 仲間はずれ、集団による無視をされる。 | 367 | 20 | 454 | 25 |
| 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。 | 936 | 28 | 1,119 | 44 |
| ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。 | 115 | 4 | 164 | 7 |
| 金品をたかられる。 | 9 | 1 | 21 | 5 |
| 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。 | 202 | 14 | 285 | 10 |
| 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。 | 371 | 8 | 419 | 17 |
| パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。 | 97 | 55 | 85 | 44 |
| その他 | 90 | 1 | 107 | 7 |

※神奈川県調査項目の原文のまま、複数回答です。

(5) いじめの発見のきっかけ

(件)

| 項目(※) | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|-----------------------|--|-------|-----|-------|-----|
| | | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 |
| 学校の教職員等が発見した。 | | 1,803 | 79 | 2,270 | 114 |
| 内 訳 | 学級担任が発見した。 | 378 | 36 | 618 | 68 |
| | 学級担任以外の教職員が発見した。 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く。) | 45 | 30 | 80 | 37 |
| | 養護教諭が発見した。 | 7 | 2 | 5 | 5 |
| | スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見した。 | 10 | 0 | 6 | 0 |
| | アンケート調査など学校の取組により発見した。 | 1,363 | 11 | 1,561 | 4 |
| 学校の教職員以外からの情報により発見した。 | | 1,885 | 181 | 2,236 | 161 |
| 内 訳 | 本人からの訴え | 1,128 | 109 | 1,141 | 88 |
| | 児童生徒(本人)の保護者からの訴え | 590 | 49 | 781 | 56 |
| | 児童生徒(本人を除く)からの情報 | 113 | 14 | 261 | 10 |
| | 保護者(本人の保護者を除く)からの情報 | 49 | 6 | 42 | 5 |
| | 地域の住民からの情報 | 2 | 2 | 5 | 0 |
| | 学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報 | 2 | 1 | 4 | 2 |
| | その他(匿名による投書など) | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 計 | | 3,688 | 260 | 4,506 | 275 |

※神奈川県調査項目の原文のままです。

(6) いじめられた児童・生徒の相談の状況

(件)

| 項目(※) | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|--|--|-------|-----|-------|-----|
| | | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 |
| 学級担任に相談した。 | | 3,092 | 182 | 3,495 | 200 |
| 学級担任以外の教職員に相談した。 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く。) | | 460 | 56 | 455 | 49 |
| 養護教諭に相談した。 | | 70 | 7 | 62 | 7 |
| スクールカウンセラー等の相談員に相談した。 | | 52 | 4 | 37 | 5 |
| 学校以外の相談機関に相談した(電話相談やメール等も含む。) | | 22 | 5 | 12 | 4 |
| 保護者や家族等に相談した。 | | 1,435 | 77 | 1,112 | 77 |
| 友人に相談した。 | | 455 | 17 | 194 | 14 |
| その他(地域の人など)に相談した。 | | 4 | 1 | 12 | 0 |
| 誰にも相談していない。 | | 49 | 6 | 283 | 15 |

※神奈川県調査項目の原文のまま、複数回答です。

(7) いじめの解消状況の推移（5年間）

| 小学校 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R4.7.20 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| ①解消しているもの(件) | 1,414 | 2,136 | 2,944 | 2,588 | 3,484 | 4,402 |
| 解消率 (①/認知件数×100) | 73.5% | 71.8% | 73.1% | 70.2% | 77.3% | 97.7% |

| 中学校 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R4.7.20 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| ①解消しているもの(件) | 217 | 234 | 286 | 199 | 225 | 257 |
| 解消率 (①/認知件数×100) | 85.8% | 89.0% | 81.9% | 76.5% | 81.8% | 93.5% |

| 小・中学校 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R4.7.20 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 小学校で解消している件数 | 1,414 | 2,136 | 2,944 | 2,588 | 3,484 | 4,402 |
| 中学校で解消している件数 | 217 | 234 | 286 | 199 | 225 | 257 |
| ①合計 | 1,631 | 2,370 | 3,230 | 2,787 | 3,709 | 4,659 |
| 解消率 (①/認知件数×100) | 75.0% | 75.0% | 73.8% | 70.6% | 77.6% | 97.4% |

※平成28年度調査から「いじめが解消している」要件が示され、「一定の解消が図られたが、継続支援中」の回答項目が削除されるなど調査項目が変更されたため、「解消しているもの」が占める割合を「いじめ解消率」としました。

※R4.7.20の数字は、年度末時点のいじめの認知件数について、次年度の令和4年7月20日時点での解消率を示したものです。

「解消している」状態とは、少なくとも次の2つの要件が満たされている必要がある。ただし、これらの要件が満たされる場合であっても、必要に応じ、他の事情も勘案して判断するものとする。

①いじめに係る行為の解消；被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。ただし、いじめの被害の重大性等からさらに長期の期間が必要であると判断される場合は、この目安にかかわらず、学校の設置者又は学校いじめ対策組織の判断により、より長期の期間を設定するものとする。

②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと；いじめに係る行為が止んでいるかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。被害児童生徒本人及びその保護者に対し、心身の苦痛を感じていないかどうかを面談等により確認する。（令和3年度文部科学省調査より）

(8)学校におけるいじめ問題に対する日常の取組

(校)

| 項目(※) | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|---|-------|-----|-------|-----|
| | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 |
| 職員会議等を通じて、いじめ問題について教職員間で共通理解を図った。 | 114 | 52 | 114 | 52 |
| いじめの問題に関する校内研修を実施した。 | 114 | 52 | 114 | 52 |
| 道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った。 | 114 | 52 | 114 | 52 |
| 児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした。 | 113 | 52 | 114 | 52 |
| スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った。 | 112 | 52 | 114 | 52 |
| 教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。 | 113 | 52 | 114 | 52 |
| 学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた。 | 114 | 52 | 114 | 52 |
| PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた。 | 28 | 12 | 35 | 20 |
| いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った。 | 37 | 20 | 39 | 23 |
| インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した。 | 111 | 51 | 108 | 52 |
| 学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った。 | 114 | 52 | 114 | 52 |
| 学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等のための組織を招集した。 | 114 | 52 | 114 | 52 |

※神奈川県調査項目の原文のまま、複数回答です。

◆ 文部科学省における「いじめ」の定義等

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が心身の苦痛を感じているもの」（いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）。（以下「法」という。）第2条第1項）をいいます。なお、起こった場所は学校の内外を問いません。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮の上で、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応を取ることが必要である。

（注1）個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、法が制定された趣旨を十分踏まえ、行為の対象となった者の立場に立って行います。特に、いじめには多様な様態があることに鑑み、いじめに該当するか否かを判断するに当たり、定義のうち「心身の苦痛を感じているもの」との部分限定して解釈されることのないようにします。

例えば、いじめられていても、本人がそれを否定する場合が多々あることを踏まえ、当該児童・生徒の表情や様子をきめ細かく観察するなどして確認する必要があります。

（注2）「一定の人的関係」とは、学校の内外を問わず、同じ学校・学級や部活動の児童・生徒や、塾やスポーツクラブ等当該児童・生徒が関わっている仲間や集団（グループ）など、当該児童・生徒が有する何らかの人的関係を指します。

（注3）「物理的な影響を与える行為」には、身体的な影響を与える行為のほか、金品をたかたり、物を隠したり、嫌なことを無理矢理させたりすることなども含まれます。

（注4）「行為」には、「仲間はずれ」や「無視」など、直接的に関わるものではないが、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものも含まれます。

（注5）けんかやふざけ合い、暴力行為等についても、背景にある事情の調査を行い、児童・生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断します。

4. 川崎市立小・中学校における長期欠席の状況

(1) 理由別長期欠席者数の推移（5年間）

| 年度 | 小学校 | | | | | | 中学校 | | | | | |
|------|-------|-----|-----|----------------|-----|--------|-------|-----|-------|----------------|-----|--------|
| | 長欠 | 病気 | 不登校 | 新型コロナウイルスの感染回避 | その他 | 不登校出現率 | 長欠 | 病気 | 不登校 | 新型コロナウイルスの感染回避 | その他 | 不登校出現率 |
| 29年度 | 763 | 214 | 430 | | 119 | 5.9 | 1,477 | 195 | 1,242 | | 40 | 42.4 |
| 30年度 | 932 | 232 | 529 | | 171 | 7.2 | 1,593 | 203 | 1,338 | | 52 | 46.2 |
| 元年度 | 1,009 | 158 | 700 | | 151 | 9.4 | 1,616 | 187 | 1,389 | | 40 | 47.6 |
| 2年度 | 1,271 | 164 | 807 | 190 | 110 | 10.9 | 1,689 | 169 | 1,370 | 119 | 31 | 46.1 |
| 3年度 | 1,997 | 238 | 947 | 620 | 192 | 12.8 | 1,877 | 264 | 1,506 | 75 | 32 | 50.2 |

※令和2年度から、「新型コロナウイルスの感染回避」の項目が追加された。

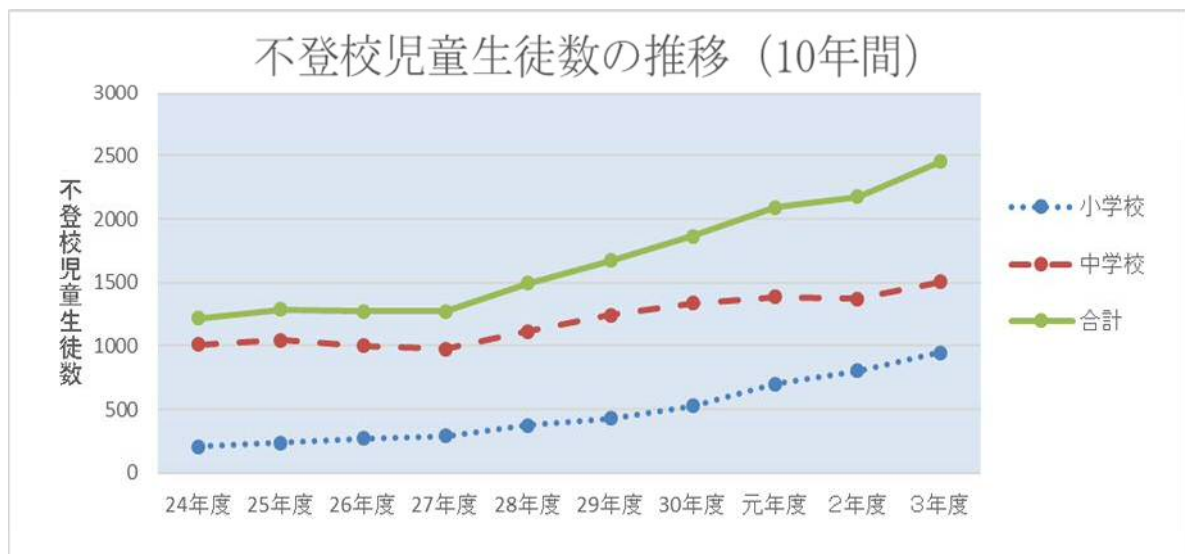
※不登校出現率は1,000人あたりの数(不登校者数÷全児童生徒数×1,000)

(2) 不登校児童生徒数の推移（5年間）

| | | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 人数 | 430 | 529 | 700 | 807 | 947 |
| | 1000人あたり | 5.9 | 7.2 | 9.4 | 10.9 | 12.8 |
| 中学校 | 人数 | 1,242 | 1,338 | 1,389 | 1,370 | 1,506 |
| | 1000人あたり | 42.4 | 46.2 | 47.6 | 46.1 | 50.2 |
| 計 | 人数 | 1,672 | 1,867 | 2,089 | 2,177 | 2,453 |
| | 1000人あたり | 16.4 | 18.2 | 20.2 | 21.0 | 23.6 |

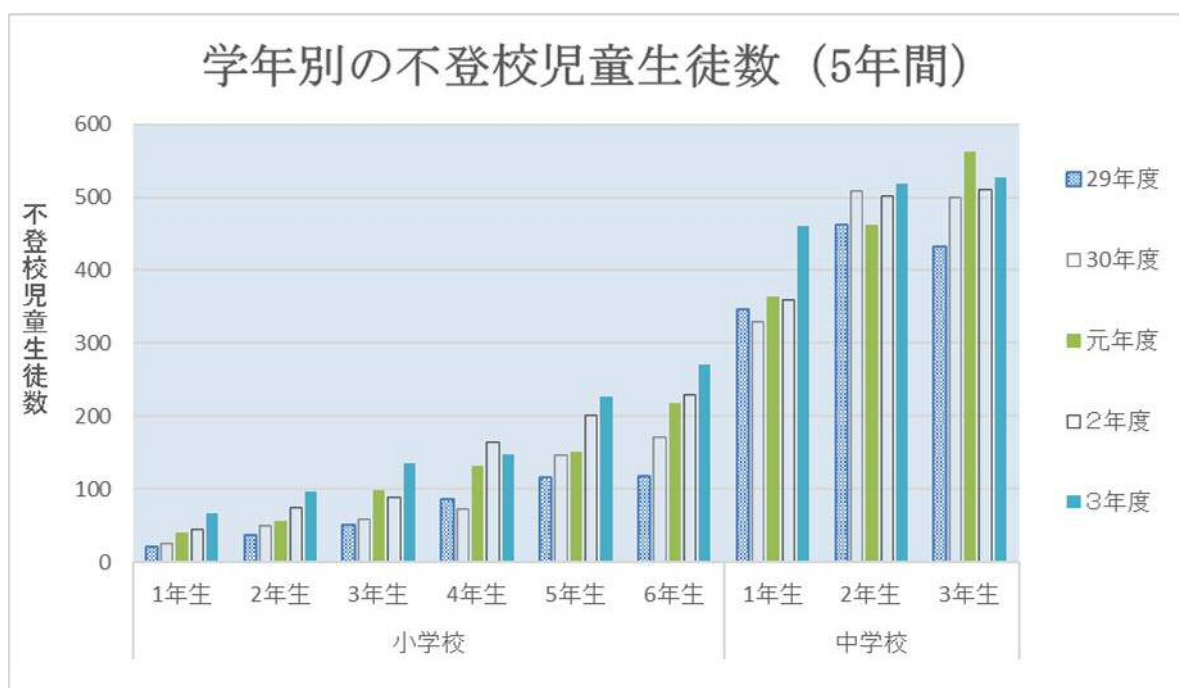
※「1000人あたり」とは、1000人あたりの出現数を表しています。

不登校の定義は、15ページをご覧ください



(3) 学年別不登校児童生徒数の推移（5年間）

| 校種 | 学年 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 1年 | 21 | 26 | 41 | 46 | 67 |
| | 2年 | 37 | 51 | 57 | 75 | 98 |
| | 3年 | 51 | 60 | 99 | 90 | 136 |
| | 4年 | 86 | 74 | 133 | 164 | 148 |
| | 5年 | 116 | 147 | 151 | 202 | 227 |
| | 6年 | 119 | 171 | 219 | 230 | 271 |
| | 合計 | 430 | 529 | 700 | 807 | 947 |
| 中学校 | 1年 | 347 | 329 | 364 | 359 | 460 |
| | 2年 | 463 | 509 | 463 | 501 | 519 |
| | 3年 | 432 | 500 | 562 | 510 | 527 |
| | 合計 | 1,242 | 1,338 | 1,389 | 1,370 | 1,506 |



(4) 中学校入学後の不登校者数の増加状況の推移（5年間）

| | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----------------|------|------|-------|-------|-------|
| 中学1年生の不登校児童生徒数 | 347 | 329 | 364 | 359 | 460 |
| 前年度6年生時の不登校児童数 | 124 | 119 | 171 | 219 | 230 |
| 増加数（人） | 223 | 210 | 193 | 140 | 230 |

(5) 不登校の要因と分類

(件)

| | | 学校に係る状況 | | | | | | | 家庭に係る状況 | | | 本人に係る状況 | | 左記の該当なし | |
|-----|------------------|---------|------------------|---------------|-------|---------|----------------|---------------|-----------------|---------------|---------|---------|----------------|---------|--------|
| | | いじめ | いじめを除く友人関係をめぐる問題 | 教職員との関係をめぐる問題 | 学業の不振 | 進路に係る不安 | クラブ活動・部活動への不適応 | 学校のきまり等をめぐる問題 | 入学・転編入学・進級時の不適応 | 家庭の生活環境の急激な変化 | 親子の関わり方 | 家庭内の不和 | 生活リズムの乱れ、遊び、非行 | | 無気力、不安 |
| 小学校 | ①主たるもの | 0 | 34 | 12 | 18 | 0 | 0 | 3 | 3 | 16 | 86 | 4 | 73 | 688 | 10 |
| | ②主たるもの以外に当てはまるもの | 0 | 21 | 13 | 96 | 3 | 0 | 10 | 4 | 15 | 115 | 9 | 48 | 43 | |
| 中学校 | ①主たるもの | 1 | 105 | 13 | 62 | 19 | 6 | 10 | 63 | 14 | 41 | 25 | 109 | 1,004 | 34 |
| | ②主たるもの以外に当てはまるもの | 0 | 61 | 6 | 70 | 22 | 7 | 6 | 11 | 18 | 67 | 35 | 59 | 88 | |

※令和2年度から、「左記の該当なし」欄の②主たるもの以外にあてはまるものは、調査せず。

(6) 指導の結果、登校できるようになった児童生徒数の推移（5年間）

| | | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 児童数 | 130 | 184 | 205 | 328 | 351 |
| | 割合 | 30.2% | 34.8% | 29.3% | 40.6% | 37.1% |
| 中学校 | 生徒数 | 240 | 327 | 272 | 348 | 352 |
| | 割合 | 19.3% | 24.4% | 19.6% | 25.4% | 23.4% |
| 計 | 児童生徒数 | 370 | 511 | 477 | 676 | 703 |
| | 割合 | 22.1% | 27.4% | 22.8% | 31.1% | 28.7% |

◆ 神奈川県調査による「長期欠席者」及び「不登校」等欠席理由

「長期欠席者」とは、「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、1年間に30日以上登校しなかった（連続したものであるか否かを問わない）児童生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「病気」「経済的理由」「不登校」「新型コロナウイルスの感染回避」「その他」に分類し、理由が2つ以上あるときには、主な理由を1つ選ぶ。

ただし、新型コロナウイルスの感染回避のため登校しなかった日数及び「出席停止・忌引き等の日数」のうち「欠席日数」に計上される可能性のない事由による日数を除き、従来から本調査において長期欠席の対象としていた「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」の理由に登校しなかった日数の合計が30日以上となる場合には、「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」のいずれかから、主な理由を1つ選ぶ。

また、新型コロナウイルスの感染回避のため登校しなかった日数及び「出席停止・忌引き等の日数」のうち「欠席日数」に計上される可能性のない事由による日数を除けば、従来から本調査において長期欠席の対象としていた「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」の理由に登校しなかった日数の合計が30日に満たない場合には、「新型コロナウイルスの感染回避」「その他」のいずれかから、主な理由を1つ選ぶ。（ここでいう、『出席停止・忌引き等の日数』のうち『欠席日数』に計上される可能性のない事由は、学校教育法又は学校保健安全法等に基づく出席停止、学年の一部の休業、忌引き、非常変災その他特に必要な場合で校長が出席しなくてもよいと認めたものを指す。）

○「病気」は「本人の心身の故障等（けがを含む。）により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席すること」をいう。（自宅療養とは、医療機関の指示がある場合のほか、自宅療養を行うことが適切であると児童・生徒本人の周囲の者が判断する場合も含む。）

○「経済的理由」は、「家計が苦しくて教育費が出せない、児童・生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席したこと」をいう。

○「不登校」は「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること（ただし、「病気」や「経済的な理由」「新型コロナウイルス感染回避」による者を除く。）」をいう。

◇「不登校」の具体例

- ・友人関係又は教職員との関係に課題を抱えているため登校しない（できない）。
- ・遊ぶためや非行グループに入っていることなどのため登校しない。
- ・無気力でなんとなく登校しない。迎えに行ったり強く催促したりすると登校するが長続きしない。
- ・登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない。漠然とした不安を訴え登校しないなど、不安を理由に登校しない（できない）。

○「新型コロナウイルス感染回避」は「新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患等で登校すべきでない」と校長が判断した者」をいう。

○「その他」は、「上記「病気」「経済的理由」「不登校」「新型コロナウイルスの感染回避」、のいずれにも該当しない理由により長期欠席したこと」をいう。

◇「その他」の具体例

- ・保護者の教育に関する考え方、登校についての無理解、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者
- ・外国での長期滞在、国内・外への旅行等のため、長期欠席している者
- ・連絡先が不明なまま長期欠席している者
- ・「病気」「経済的理由」「不登校」の理由により登校しなかった日数の合計が30日に満たず、学校教育法又は学校保健安全法に基づく出席停止、学年の一部の休業、忌引き等の日数を加えることによって、登校しなかった日数が30日以上となる場合
- ・新型コロナウイルスの感染の急拡大期に、学校又は教育委員会から推奨あるいは提示されたオンライン学習（オンラインと対面のハイブリットで学習指導を行う場合を含む。）に参加したことによって、登校しなかった日数が30日以上となる者

神奈川県の暴力行為、いじめ、長期欠席 地域別の状況（公立小・中学校）

1 暴力行為の発生件数〔地域別〕（県立中等教育学校（前期課程）を除く）

▲ 減少

| | 令和3年度 | | | | 令和2年度 | | | | 令和3年度、2年度比較 | | | |
|------|-------|-------|--------------|-----------|-------|-------|--------------|-----------|-------------|------|------------|-----------|
| | 小学校 | 中学校 | 小中合計 | 1,000人あたり | 小学校 | 中学校 | 小中合計 | 1,000人あたり | 小学校 | 中学校 | 小中合計 | 1,000人あたり |
| 横浜市 | 4,112 | 898 | 5,010 | 19.6 | 4,113 | 732 | 4,845 | 18.9 | ▲ 1 | 166 | 165 | 0.7 |
| 川崎市 | 194 | 147 | 341 | 3.3 | 129 | 150 | 279 | 2.7 | 65 | ▲ 3 | 62 | 0.6 |
| 相模原市 | 185 | 138 | 323 | 6.3 | 329 | 106 | 435 | 8.5 | ▲ 144 | 32 | ▲ 112 | ▲ 2.2 |
| 横須賀市 | 136 | 66 | 202 | 7.7 | 309 | 104 | 413 | 15.6 | ▲ 173 | ▲ 38 | ▲ 211 | ▲ 7.9 |
| 湘南三浦 | 523 | 200 | 723 | 9.4 | 451 | 211 | 662 | 8.6 | 72 | ▲ 11 | 61 | 0.8 |
| 県央 | 616 | 245 | 861 | 13.5 | 421 | 202 | 623 | 9.7 | 195 | 43 | 238 | 3.8 |
| 中 | 198 | 100 | 298 | 7.2 | 205 | 99 | 304 | 7.3 | ▲ 7 | 1 | ▲ 6 | ▲ 0.1 |
| 県西 | 260 | 159 | 419 | 18.4 | 97 | 104 | 201 | 8.7 | 163 | 55 | 218 | 9.7 |
| 神奈川県 | 6,224 | 1,953 | 8,177 | 12.7 | 6,054 | 1,708 | 7,762 | 12.1 | 170 | 245 | 415 | 0.6 |

2 いじめの認知件数〔地域別〕（県立中等教育学校（前期課程）を除く）

| | 令和3年度 | | | | 令和2年度 | | | | 令和3年度、2年度比較 | | | |
|------|--------|-------|---------------|-----------|--------|-------|---------------|-----------|-------------|-------|--------------|-----------|
| | 小学校 | 中学校 | 小中合計 | 1,000人あたり | 小学校 | 中学校 | 小中合計 | 1,000人あたり | 小学校 | 中学校 | 小中合計 | 1,000人あたり |
| 横浜市 | 6,168 | 1,388 | 7,556 | 29.5 | 4,527 | 1,001 | 5,528 | 21.6 | 1,641 | 387 | 2,028 | 7.9 |
| 川崎市 | 4,506 | 275 | 4,781 | 45.9 | 3,688 | 260 | 3,948 | 38.0 | 818 | 15 | 833 | 7.9 |
| 相模原市 | 862 | 284 | 1,146 | 22.4 | 903 | 211 | 1,114 | 21.6 | ▲ 41 | 73 | 32 | 0.8 |
| 横須賀市 | 1,069 | 110 | 1,179 | 45.1 | 630 | 116 | 746 | 28.1 | 439 | ▲ 6 | 433 | 17.0 |
| 湘南三浦 | 2,471 | 793 | 3,264 | 42.5 | 1,679 | 374 | 2,053 | 26.8 | 792 | 419 | 1,211 | 15.7 |
| 県央 | 3,560 | 496 | 4,056 | 63.5 | 2,465 | 355 | 2,820 | 44.0 | 1,095 | 141 | 1,236 | 19.5 |
| 中 | 5,393 | 838 | 6,231 | 150.8 | 4,253 | 720 | 4,973 | 119.0 | 1,140 | 118 | 1,258 | 31.8 |
| 県西 | 1,741 | 636 | 2,377 | 104.5 | 1,142 | 582 | 1,724 | 74.6 | 599 | 54 | 653 | 29.9 |
| 神奈川県 | 25,770 | 4,820 | 30,590 | 47.7 | 19,287 | 3,619 | 22,906 | 35.6 | 6,483 | 1,201 | 7,684 | 12.1 |

3 理由別長期欠席児童・生徒数〔地域別〕（中等教育学校（前期課程）を除く）

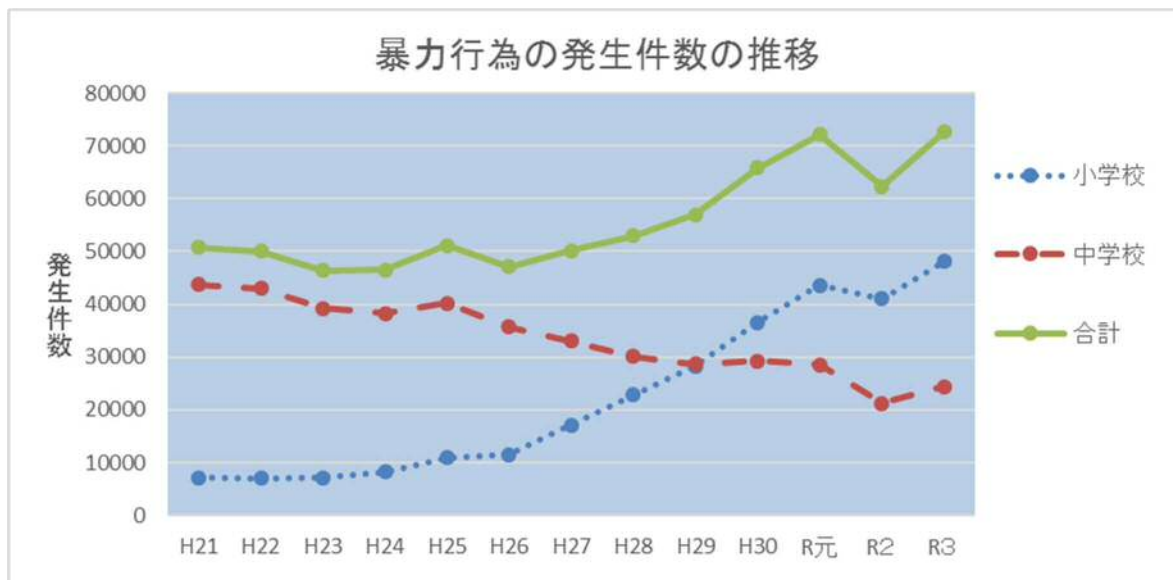
※は1,000人あたりの人数

| | | 令和3年度 | | | | | | 令和2年度 | | | | | | 令和3年度、2年度比較 | | | | | |
|------|----|--------|--------|-------|-------|---------------|-------|--------|--------|-------|-------|---------------|-------|-------------|-------|-----|-------|---------------|-------|
| | | 長期欠席 | | | | | | 長期欠席 | | | | | | 長期欠席 | | | | | |
| | | 計 | 不登校 | 病気 | 経済的理由 | 新型コロナウイルス感染回避 | その他 | 計 | 不登校 | 病気 | 経済的理由 | 新型コロナウイルス感染回避 | その他 | 計 | 不登校 | 病気 | 経済的理由 | 新型コロナウイルス感染回避 | その他 |
| 横浜 | 小 | 6,536 | 2,635 | 541 | 0 | 2,041 | 1,319 | 3,770 | 2,160 | 465 | 0 | 685 | 460 | 2,766 | 475 | 76 | 0 | 1,356 | 859 |
| | 中 | 5,370 | 3,981 | 387 | 0 | 601 | 401 | 4,065 | 3,527 | 250 | 0 | 200 | 88 | 1,305 | 454 | 137 | 0 | 401 | 313 |
| | 合計 | 11,906 | 6,616 | 928 | 0 | 2,642 | 1,720 | 7,835 | 5,687 | 715 | 0 | 885 | 548 | 4,071 | 929 | 213 | 0 | 1,757 | 1,172 |
| | ※ | 46.6 | 25.9 | | | | | 30.6 | 22.2 | | | | | 16.0 | 3.7 | | | | |
| 川崎 | 小 | 1,997 | 947 | 238 | 0 | 620 | 192 | 1,271 | 807 | 164 | 0 | 190 | 110 | 726 | 140 | 74 | 0 | 430 | 82 |
| | 中 | 1,877 | 1,506 | 264 | 0 | 75 | 32 | 1,689 | 1,370 | 169 | 0 | 119 | 31 | 188 | 136 | 95 | 0 | ▲44 | 1 |
| | 合計 | 3,874 | 2,453 | 502 | 0 | 695 | 224 | 2,960 | 2,177 | 333 | 0 | 309 | 141 | 914 | 276 | 169 | 0 | 386 | 83 |
| | ※ | 37.2 | 23.6 | | | | | 28.5 | 21.0 | | | | | 8.7 | 2.6 | | | | |
| 相模原 | 小 | 1,003 | 438 | 130 | 0 | 321 | 114 | 670 | 372 | 109 | 0 | 101 | 88 | 333 | 66 | 21 | 0 | 220 | 26 |
| | 中 | 1,157 | 929 | 92 | 0 | 104 | 32 | 965 | 868 | 60 | 0 | 22 | 15 | 192 | 61 | 32 | 0 | 82 | 17 |
| | 合計 | 2,160 | 1,367 | 222 | 0 | 425 | 146 | 1,635 | 1,240 | 169 | 0 | 123 | 103 | 525 | 127 | 53 | 0 | 302 | 43 |
| | ※ | 42.3 | 26.7 | | | | | 31.8 | 24.1 | | | | | 10.5 | 2.6 | | | | |
| 横浜 | 小 | 679 | 376 | 108 | 0 | 93 | 102 | 467 | 261 | 86 | 0 | 48 | 72 | 212 | 115 | 22 | 0 | 45 | 30 |
| | 中 | 726 | 561 | 103 | 0 | 15 | 47 | 667 | 548 | 65 | 1 | 10 | 43 | 59 | 13 | 38 | ▲1 | 5 | 4 |
| | 合計 | 1,405 | 937 | 211 | 0 | 108 | 149 | 1,134 | 809 | 151 | 1 | 58 | 115 | 271 | 128 | 60 | ▲1 | 50 | 34 |
| | ※ | 53.8 | 35.9 | | | | | 42.7 | 30.5 | | | | | 11.1 | 5.4 | | | | |
| 湘南三浦 | 小 | 1,548 | 729 | 218 | 0 | 342 | 259 | 1,002 | 602 | 119 | 0 | 122 | 159 | 546 | 127 | 99 | 0 | 220 | 100 |
| | 中 | 1,697 | 1,218 | 282 | 0 | 125 | 72 | 1,326 | 1,022 | 164 | 0 | 42 | 98 | 371 | 196 | 118 | 0 | 83 | ▲26 |
| | 合計 | 3,245 | 1,947 | 500 | 0 | 467 | 331 | 2,328 | 1,624 | 283 | 0 | 164 | 257 | 917 | 323 | 217 | 0 | 303 | 74 |
| | ※ | 42.3 | 25.4 | | | | | 30.4 | 21.2 | | | | | 11.9 | 4.2 | | | | |
| 県央 | 小 | 1,856 | 564 | 172 | 0 | 297 | 823 | 1,118 | 465 | 171 | 0 | 194 | 288 | 738 | 99 | 1 | 0 | 103 | 535 |
| | 中 | 1,688 | 1,165 | 192 | 0 | 106 | 225 | 1,245 | 927 | 139 | 0 | 47 | 132 | 443 | 238 | 53 | 0 | 59 | 93 |
| | 合計 | 3,544 | 1,729 | 364 | 0 | 403 | 1,048 | 2,363 | 1,392 | 310 | 0 | 241 | 420 | 1,181 | 337 | 54 | 0 | 162 | 628 |
| | ※ | 55.5 | 27.1 | | | | | 36.8 | 21.7 | | | | | 18.7 | 5.4 | | | | |
| 中 | 小 | 786 | 360 | 191 | 0 | 115 | 120 | 649 | 294 | 153 | 0 | 112 | 90 | 137 | 66 | 38 | 0 | 3 | 30 |
| | 中 | 925 | 627 | 198 | 0 | 79 | 21 | 855 | 533 | 203 | 0 | 85 | 34 | 70 | 94 | ▲5 | 0 | ▲6 | ▲13 |
| | 合計 | 1,711 | 987 | 389 | 0 | 194 | 141 | 1,504 | 827 | 356 | 0 | 197 | 124 | 207 | 160 | 33 | 0 | ▲3 | 17 |
| | ※ | 41.4 | 23.9 | | | | | 36.0 | 19.8 | | | | | 5.4 | 4.1 | | | | |
| 県西 | 小 | 576 | 218 | 105 | 0 | 169 | 84 | 350 | 165 | 81 | 0 | 61 | 43 | 226 | 53 | 24 | 0 | 108 | 41 |
| | 中 | 565 | 375 | 118 | 0 | 39 | 33 | 432 | 324 | 72 | 0 | 13 | 23 | 133 | 51 | 46 | 0 | 26 | 10 |
| | 合計 | 1,141 | 593 | 223 | 0 | 208 | 117 | 782 | 489 | 153 | 0 | 74 | 66 | 359 | 104 | 70 | 0 | 134 | 51 |
| | ※ | 50.2 | 26.1 | | | | | 33.8 | 21.2 | | | | | 16.4 | 4.9 | | | | |
| 神奈川 | 小 | 14,981 | 6,267 | 1,703 | 0 | 3,998 | 3,013 | 9,297 | 5,126 | 1,348 | 0 | 1,513 | 1,310 | 5,684 | 1,141 | 355 | 0 | 2,485 | 1,703 |
| | 中 | 14,005 | 10,362 | 1,636 | 0 | 1,144 | 863 | 11,244 | 9,119 | 1,122 | 1 | 538 | 464 | 2,761 | 1,243 | 514 | ▲1 | 606 | 399 |
| | 合計 | 28,986 | 16,629 | 3,339 | 0 | 5,142 | 3,876 | 20,541 | 14,245 | 2,470 | 1 | 2,051 | 1,774 | 8,445 | 2,384 | 869 | ▲1 | 3,091 | 2,102 |
| | ※ | 45.2 | 25.9 | | | | | 31.9 | 22.1 | | | | | 13.3 | 3.8 | | | | |

| | |
|--------|---|
| 湘南三浦地域 | 鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、葉山町、寒川町 |
| 県央地域 | 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村 |
| 中地域 | 平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町 |
| 県西地域 | 南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町 小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町 |

全国の暴力行為、いじめ、不登校の状況

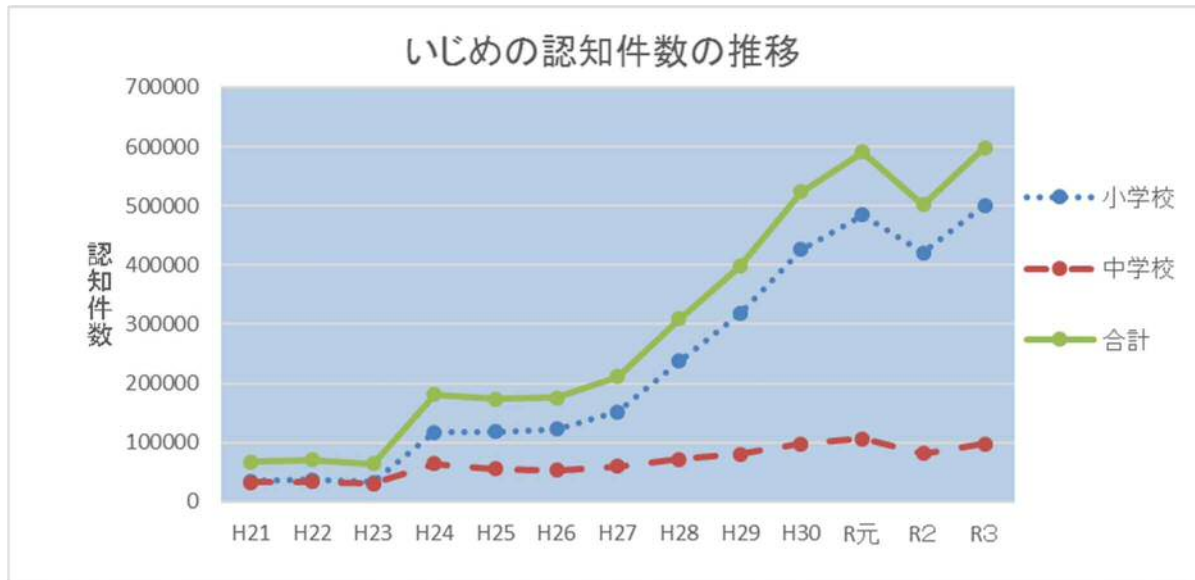
1 小・中学校における暴力行為の発生件数の状況について



(件)

| | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小学校 | 7,115 | 7,092 | 7,175 | 8,296 | 10,896 | 11,472 | 17,078 | 22,841 | 28,315 | 36,536 | 43,614 | 41,056 | 48,138 |
| 中学校 | 43,715 | 42,987 | 39,251 | 38,218 | 40,246 | 35,683 | 33,073 | 30,148 | 28,702 | 29,320 | 28,518 | 21,293 | 24,450 |
| 合計 | 50,830 | 50,079 | 46,426 | 46,514 | 51,142 | 47,155 | 50,151 | 52,989 | 57,017 | 65,856 | 72,132 | 62,349 | 72,588 |

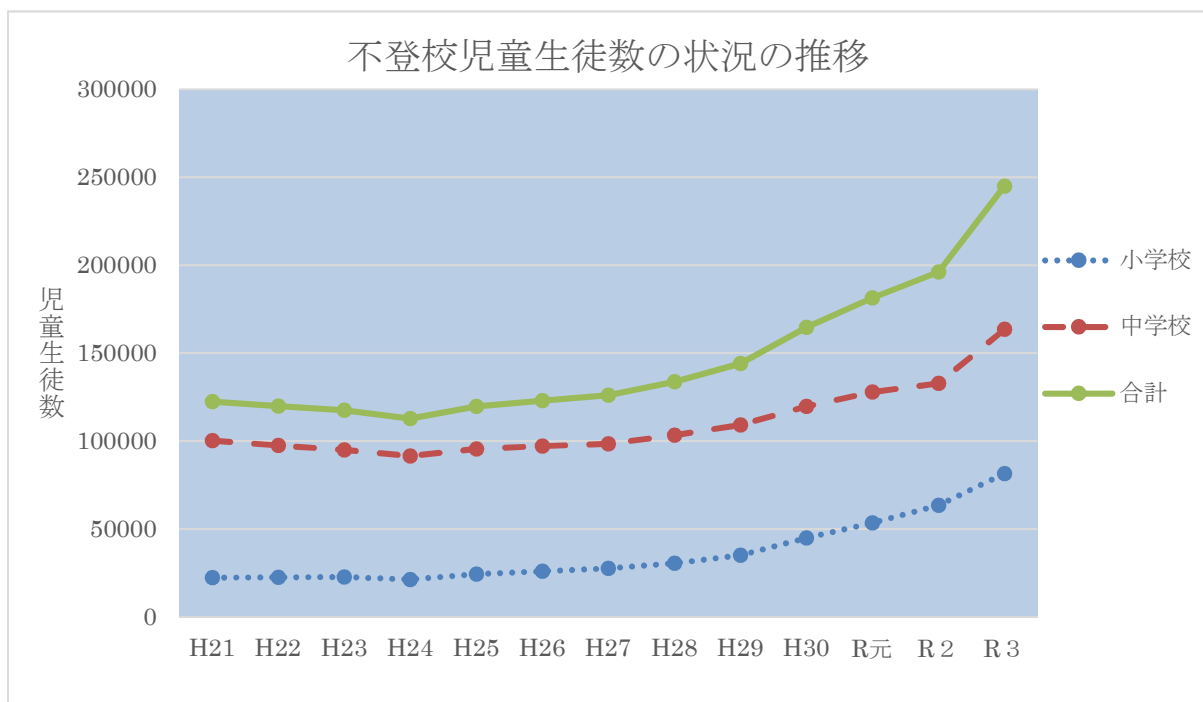
2 小・中学校におけるいじめの認知件数の状況について



(件)

| | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
|-----|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 小学校 | 34,766 | 36,909 | 33,124 | 117,384 | 118,748 | 122,734 | 151,692 | 237,256 | 317,121 | 425,844 | 484,545 | 420,897 | 500,562 |
| 中学校 | 32,111 | 33,323 | 30,749 | 63,634 | 55,248 | 52,971 | 59,502 | 71,309 | 80,424 | 97,704 | 106,524 | 80,877 | 97,937 |
| 合計 | 66,877 | 70,232 | 63,873 | 181,018 | 173,996 | 175,705 | 211,194 | 30,8565 | 397,545 | 523,548 | 591,069 | 501,774 | 598,499 |

3 小・中学校における不登校児童生徒数の状況について



(人)

| | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 小学校 | 22,327 | 22,463 | 22,622 | 21,243 | 24,175 | 25,864 | 27,583 | 30,448 | 35,032 | 44,841 | 53,350 | 63,350 | 81,498 |
| 中学校 | 100,105 | 97,428 | 94,836 | 91,446 | 95,442 | 97,033 | 98,408 | 103,235 | 108,999 | 119,687 | 127,922 | 132,777 | 163,442 |
| 合計 | 122,432 | 119,891 | 117,458 | 112,689 | 119,617 | 122,897 | 125,991 | 133,683 | 144,031 | 164,528 | 181,272 | 196,127 | 244,940 |